

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	私立幼稚園就園奨励費助成事業			会計	款	項目	大事	小事	
				01	10	04	01	05	01
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	保育課				
施策	4-1	安心して子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり		主管課長	村山 智章				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	私立幼稚園の設置者	意図	・保護者の経済的負担の軽減。 ・幼稚園教育の振興。
事業内容	6月1日現在で私立幼稚園に在園し、流山市に住民票がある園児を対象とし、3・4・5歳児の園児の保護者に補助金を支給。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和47年から制度が開始され、保護者の負担軽減を図り、私立幼稚園の就園奨励が図られてきた。 平成30年度から園児補助金と統合し一本化して運用することとした。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	補助対象者	2,513	2,499	3,413	人	↓↓↓	
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 私立幼稚園に通う園児の保護者の経済的負担の軽減が図られている。 平成30年度から園児補助金と統合し一本化して運用することとした。 令和元年10月からの幼児教育無償化に伴い、本事業は廃止されることとなり、新制度への対応を行う必要がある。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		323,135,390	329,021,315	398,268,540				
事業費(b)(円)		319,423,140	326,056,765	395,343,240				
うち一般財源		223,019,140	222,427,765	283,366,240				
職員給与と費(c)(円)		3,712,250	2,964,550	2,925,300				
人役・職員(人)		0.50	0.40	0.40				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)		0.25	0.25	0.25				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	VII 終了（事業を終了すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	途中転入者等の支給額の計算方式について完全月割へと制度変更を図る。	③取組における課題(Check)	令和元年10月からの幼児教育無償化に伴い、本事業は廃止されることとなり、新制度への対応を行う必要がある。
②H30に実施した取組(Do)	完全月割りへと制度変更を行い、途中転入者等が補助対象外になってしまう課題に対応した。 園児補助金と統合し一本化して運用することとした。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	新制度に係る国等からの情報を収集する。制度設計、関連例規の整備、園との調整、保護者への周知、システム改修等を行う。